

授業科目名： 保育内容の指導法（環境）	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 田中純江 担当形態： 単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
科 目	領域及び保育内容の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む）		
「学位授与の方針」との関係 DP2. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）□			
授業のテーマ及び到達目標 （１）幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「環境」のねらいおよび内容を理解する。 （２）幼児の発達を理解し、具体的に保育を構想し指導する方法を身に付ける。 （３）具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。			
授業の概要 幼稚園教育の基本をふまえ、領域「環境」のねらいおよび内容を理解する。幼児の発達に即して、環境を活かし深い学びを目指した保育を構想し、活用方法を身に付ける。情報機器を効果的に用いる方法を理解し、活用する方法を身に付ける。スクーリングでは、各自が構想した保育の指導案作成を通して、指導案の構成を学ぶ。幼児の主体的で多様な活動を引き出すために、アクティブラーニングの手法も用いて探っていく。			
授業計画 第 1 回：幼稚教育の基本と保育内容「環境」 第 2 回：子どもの発達と、領域「環境」 第 3 回：領域「環境」のねらい、内容の展開の実際①（園内活動） 第 4 回：領域「環境」のねらい、内容の展開の実際②（園外活動） 第 5 回：幼児期の特性を理解し、具体的に保育を構想し指導する方法 第 6 回：自然に親しみ、動植物に触れる保育①（計画立案） 第 7 回：自然に親しみ、動植物に触れる保育②（体験実地） 第 8 回：標識・文字等に関わる保育（情報機器及び教材の活用を含む） 第 9 回：数量・図形等に関わる保育（情報機器及び教材の活用を含む） 第 10 回：生活に関係の深い情報や施設に関わる保育（情報機器及び教材の活用を含む） 第 11 回：指導案作成①（計画立案） 第 12 回：指導案作成②（保育内容の精査） 第 13 回：指導案作成③（書式に書き込む） 第 14 回：指導案作成④（仕上げと意見交換） 第 15 回：環境に関わる現代的課題（SDGs、生物多様性、生態系、インクルーシブ教育、他） 科目修得試験			
スクーリングでの学修 *スクーリングではすべての内容について包括的に取り上げる。			
テキスト 文部科学省（2018）『幼稚園教育要領解説』 フレーベル館、 978-4577814475			
参考書・参考資料等 神長美津子・堀越紀香・佐々木晃 編著（2018）『保育内容 環境』 光生館、 978-4332701866			
学生に対する評価 スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）			